



学校安全・防災だより

【第8号】

『 秋 の 全 国 交 通 安 全 運 動 』

～警察等と連携し、交通安全教育の一層の充実をお願いします～

令和5年9月21日（木）から9月30日（土）までの10日間、秋の全国交通安全運動が実施されます。

今回は全国重点として、「子どもと高齢者を始めとする歩行者の安全の確保」や「夕暮れ時と夜間の交通事故防止」、「自転車等のヘルメット着用と交通ルールの遵守」等が定められています。

今回の交通安全運動を機会に、改めて、児童生徒等の交通事故の未然防止と学校・園における安全体制の整備に努めるよう、お願いします。



警察等と連携した「参加・体験・実践型」の交通安全教育実践事例

<石巻好文館高等学校>

同校では、全校生徒およそ570人のうち、3分の1が自転車で通学をしています。今回実施した交通安全教室では、交通事故の危険性を間近に感じてもらうため、プロのスタントマンが実際に起こった自転車事故を高校生の前で再現しました。事故の危険性を間近で体験したことで、今後の通学時における自転車乗用中のルールやマナー遵守について、考えを深める生徒が多く見られました。



<川崎町立川崎小学校>

大河原警察署川崎駐在所と川崎町交通指導隊の方々から、「安全な歩き方・道路の横断の仕方」について、丁寧に教えていただきました。

1・2年生でペアをつくり、横断歩道を渡る練習を行いました。

実際に通学路にある横断歩道で体験することで、より実践的な学びにつながり、貴重な学習の機会となりました。



<富谷市立富谷中学校>

大和警察署員から、学校の近くで実際に起こった交通事故を地図上に表し、その発生状況について講話をいただきました。

自分たちが通学している学校の近くで事故が多く発生している状況を知ることができました。

講話を通して、「交通事故に遭わない・起こさない」という交通安全に対する気持ちを高めることができました。



※以下に、交通安全教育の参考となる動画や資料を紹介しますので、御活用ください。

○「正しい横断歩道の渡り方（幼児向け）」

＜県警察本部交通企画課HP（動画：約6分）＞



○「クイズでまなぼう！たいせつないのちとあんぜん」（文部科学省作成）

・安全に関する学級での指導や家庭での話し合いなどの取組を支援するため、小学1年生に対して配布するリーフレット



○『サイン・サンクス運動～車への渡る「合図」と「ありがとう」～』

＜県警察本部交通企画課HP（啓発チラシ）＞

・信号機のない横断歩道利用時における手上げによる横断の意思表示（サイン）と停止車両に対する感謝の意思表示（サンクス）の啓発を促すチラシ



○内閣府「中学生・高校生向け 自転車交通安全講座」

・自転車安全利用五則、自転車事故で問われる責任、事故時の正しい対応を解説したパンフレット



○「自転車は車のなかま～子供から大人まで安全運転5つのルール」

＜政府インターネットテレビ（動画：3分）＞

・加害者、被害者にならないために、安全運転5つのルールを紹介



○「反射材用品等の効果」

＜県警察本部交通企画課HP（動画：5分）＞

・夕暮れ時や夜間における反射材用品等の効果について解説



○「自転車ヘルメット着用努力義務化」
「電動キックボードのルール」

＜県警察本部交通企画課HP（啓発チラシ）＞



○「特定小型原動機付自転車とは」
「特定小型原動機付自転車の基本的な交通ルール」

＜YouTube 警察庁公式チャンネル（動画：6分、11分）＞

・特定小型原動機付自転車の基本的なルール等を解説した動画



「災害時学校支援チームみやぎ養成研修会」

大規模な災害の発生に伴い、被災地において予想される学校教育の混乱解消に向けて、被災自治体の要請に基づき教育復興を支援する「災害時学校支援チームみやぎ」の候補者を対象とした第1回養成研修会を8月31日（木）に開催しました。

＜第1回養成研修会の主な内容＞

- （講義）「被災地における学校支援の意義」
講師：石巻市立蛇田小学校 教頭 柏 晃司 氏
- （視察）「みやぎ東日本大震災津波伝承館施設」
- （視察）「石巻市震災遺構大川小学校」
講師：大川伝承の会 佐藤 敏郎 氏



＜参加者の感想（一部抜粋）＞

- 派遣のタイミングによって、できる支援が異なり、現地の方のニーズによって対応できるよう、様々な引き出しを持っておくことが大切だと感じました。
- 現地に足を運び、実際に山に避難したことで感じるものが多くあった。平時にあらかじめ決めて、共通理解しておくことの大切さを職員・生徒・保護者にも伝えたい。